

埼玉県5か年計画 計画書作成に当たっての意見(案)

埼玉県5か年計画の計画書の作成に当たっては、県民に分かりやすい記載方法とするため以下の点について対応を求める。

番号	区分		項目	原案	修正案
1	全体		用語の解説	巻末に「用語の解説」を掲載	該当ページ内に「用語の解説」を掲載
2	総論	3	埼玉県の目指す将来像	将来像1 安心・安全の追究 Resilience 将来像2 誰もが輝く社会 Empowerment 将来像3 持続可能な成長 Sustainability	将来像の英語表記への注釈の追加
3	全体計画		複数の分野別施策に掲載されている「主な取組」の表記について	主な取組	複数の施策に掲載されている「主な取組」であることが分かるよう記載 例 施策〇〇にも記載 など
4	全体計画		分野別施策の「担当部局」の基本的考え方、割り振りについて	担当部局	分野別施策のページ内に担当部局の考え方を掲載
5	針路 2	10	生活の安心支援	施策指標 ■子供の居場所の数 (指標の説明) 子ども食堂や無料塾、プレイパークなどの子供の居場所の数。	■子供の居場所の数 (指標の説明) 子ども食堂や無料塾、プレイパーク、多世代交流拠点などの子供の居場所の数。
6	針路 3	11	地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	施策指標 ■75～79歳の要介護認定率 (指標の説明) 75～79歳の人のうち、要介護(支援)認定を受けている人の割合。 要介護者の割合が高まる後期高齢者の入り口の世代であり、この世代の認定率を下げることで、より長く元気に暮らすことが可能となることから、この指標を選定。 (目標の根拠) 本県は後期高齢者数の増加率が高いことから今後は要介護認定率の上昇が見込まれるため、現行の水準より下げることを目指し、目標値を設定。	■75～79歳の要介護認定率 (指標の説明) 75～79歳の人のうち、要介護(支援)認定を受けている人の割合。 要介護者の割合が高まる後期高齢者の入り口の世代であり、介護予防の取組などにより、この世代の認定率を下げることで、より長く元気に暮らすことが可能となることから、この指標を選定。 (目標の根拠) 本県は後期高齢者数の増加率が高いことから今後は要介護認定率の上昇が見込まれるため、現行の水準より下げることを目指し、目標値を設定。

埼玉県5か年計画 計画書作成に当たっての意見(案)

番号	区分		項目	原案	修正案
7	針路 3	13	地域医療体制の 充実	<p>■災害時連携病院の指定数</p> <p>(目標の根拠) 災害拠点病院(令和2年度末22病院)と円滑に連携できる体制の確立を目指し、目標値を設定。</p>	<p>■災害時連携病院の指定数</p> <p>(目標の根拠) 災害拠点病院(令和2年度末22病院)と円滑に連携できる体制の確立及び地域偏在の解消を目指し、目標値を設定。</p>
8	針路 3	14	医師・看護師確保 対策の推進	<p>■医療施設(病院・診療所)の 医師数(人口10万人当たり) 【参考指標】</p> <p>(指標の説明) 医療施設に従事する、人口10万人当たりの医師数。 地域医療体制の充実には、医師の確保が不可欠であることから、この指標を選定。 2年ごとの医師・歯科医師・薬剤師統計により把握する数値であるため、参考指標とする。</p> <p>(目標の根拠) 医師確保の取組により人口10万人当たりの医師数の全国順位が改善(46位:茨城県187.5人(平成30年末))することを目指し、目標値を設定。 ※平成30年時点の茨城県の順位を上回るために必要な医師数は1,296人。</p>	<p>■医療施設(病院・診療所)の 医師数【参考指標】</p> <p>(指標の説明) 医療施設に従事する医師数。 地域医療体制の充実には、医師の確保が不可欠であることから、この指標を選定。 2年ごとの医師・歯科医師・薬剤師統計により把握する数値であるため、参考指標とする。</p> <p>(目標の根拠) 医師確保の取組により人口10万人当たり医師数について、社会・経済的条件が近似する千葉県、神奈川県、埼玉県の平均値(近年の増加傾向を加味)に達することを目指し、目標値を設定。</p>
9	針路 5	21	多様なニーズに 対応した教育の推進	<p>施策指標</p>	<p>■いじめの解消率</p> <p>(指標の説明) 県内公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校におけるいじめの認知件数のうち、解消された件数の割合。</p>
10	針路 7	30	障害者の自立・ 生活支援	<p>■障害者入所施設から地域生活へ移行する人数</p> <p>(指標の説明) 障害者入所施設から地域生活へ移行する人数。 地域生活を希望する施設入所者が地域の中で共に安心して暮らせるよう、地域の障害福祉サービスの提供体制を充実し、入所施設から地域生活への移行を促進する必要があることから、この指標を選定。</p>	<p>■障害者入所施設から地域生活へ移行する人数</p> <p>(指標の説明) 障害者入所施設から地域生活へ移行する人数。 グループホームなどで地域生活を希望する施設入所者が地域の中で共に安心して暮らせるよう、地域の障害福祉サービスの提供体制を充実し、入所施設から地域生活への移行を促進する必要があることから、この指標を選定。</p>

埼玉県5か年計画 計画書作成に当たっての意見(案)

番号	区分			項目	原案	修正案
11	針路 8	33	地域の魅力創造 発信と観光振興	施策指標	<p>■本県で観光・レジャーなどを楽しむ人の数</p> <p>(指標の説明) 県内の観光地及び祭り、イベントなどに訪れた人数の合計。</p>	<p>■本県で観光・レジャーなどを楽しむ人の数</p> <p>(指標の説明) 県内の観光地及び祭り、イベントなどに訪れた人数の合計 (観光入込客の数)。</p>
12	針路 10	43	生物多様性の保全	施策指標	<p>■生物多様性の認知度</p> <p>(指標の説明) 県政世論調査で「生物多様性」という言葉について、「言葉の意味も含め知っている」又は「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」と回答した県民の割合。</p>	<p>■生物多様性の認知度</p> <p>(指標の説明) 県政世論調査で「生物多様性」という言葉について、言葉の意味も含め知っている又は言葉は聞いたことがあると回答した県民の割合。</p>